

出雲市全体 業種別景況（令和3年1月～令和3年3月期）

《全業種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	27.7	28.9	43.4	△ 15.6	22.0	23.2	54.8	△ 32.7	19.5	42.0	38.5	△ 18.9
2 採算（経常利益）	19.7	42.2	38.2	△ 18.5	16.0	34.9	49.1	△ 33.1	13.6	53.3	33.1	△ 19.5
3 資金繰り	10.0	63.5	26.5	△ 16.5	10.2	60.2	29.5	△ 19.3	7.8	66.9	25.3	△ 17.5
4 従業員（含 臨時・パート）	6.5	77.6	15.9	△ 9.4	9.6	67.7	22.8	△ 13.2	12.6	76.0	11.4	1.2
5 商品（製品）在庫	5.7	77.7	16.6	△ 10.8	7.8	70.1	22.1	△ 14.3	8.4	75.3	16.2	△ 7.8
6 業況（自社）	14.0	49.1	36.8	△ 22.8	12.4	44.1	43.5	△ 31.2	16.5	52.4	31.2	△ 14.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	35.1	2.9	11.8	33.8	20.6	8.8	19.1	2.9	64.9
2 来期	39.6	6.8	14.9	28.4	20.3	10.8	17.6	1.4	60.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	56.4	11.4	6.0	9 金利負担の増加	0.6	0.7	1.7
2 新規参入業者の増加	1.2	5.0	4.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.7	1.7
3 単価の低下・上昇難	4.3	12.9	6.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.7	2.6
4 材料（原材料）等の入手難	2.5	3.6	2.6	12 従業員の確保難	14.7	6.4	19.0
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	4.3	12.9	12.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.3	15.7	23.3
6 人件費の増加	4.3	12.9	5.2	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	0.6	5.0	3.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	1.8	8.6	6.0	15 その他	4.3	1.4	4.3
8 商品（製品）在庫の過剰	0.6	2.1	1.7				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	40.0	44.0	16.0	24.0	29.2	45.8	25.0	4.2	4.2	29.2	66.7	△ 62.5
2 採算(経常利益)	16.0	68.0	16.0	0.0	20.8	58.3	20.8	0.0	8.3	54.2	37.5	△ 29.2
3 資金繰り	8.0	92.0	0.0	8.0	12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	79.2	20.8	△ 20.8
4 従業員(含臨時・パート)	12.0	84.0	4.0	8.0	20.8	70.8	8.3	12.5	25.0	75.0	0.0	25.0
5 商品(製品)在庫	0.0	89.5	10.5	△ 10.5	0.0	94.4	5.6	△ 5.6	0.0	94.4	5.6	△ 5.6
6 業況(自社)	8.0	76.0	16.0	△ 8.0	8.3	79.2	12.5	△ 4.2	0.0	62.5	37.5	△ 37.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化
11

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	48.4	0.0	6.7	26.7	26.7	6.7	33.3	0.0	51.6
2 来期	44.8	0.0	7.7	23.1	30.8	7.7	30.8	0.0	55.2

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	43.5	16.7	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	11.1	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	8.7	11.1	7.7	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.3	5.6	0.0	12 従業員の確保難	26.1	0.0	38.5
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	16.7	7.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.3	5.6	7.7
6 人件費の増加	13.0	11.1	7.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	22.2	23.1	15 その他	0.0	0.0	7.7
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・コロナウイルスで我々の業界も民間工事が減少をしている。
- ・秋以降の受注が心配される。
- ・コロナの影響が徐々に表れてきている。5月以降の受注の見通しが厳しくなっている。

《 製 造 業 》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	34.3	34.3	31.4	2.9	24.2	24.2	51.5	△ 27.3	23.5	50.0	26.5	△ 2.9
2 採算(経常利益)	34.3	34.3	31.4	2.9	15.2	36.4	48.5	△ 33.3	20.6	50.0	29.4	△ 8.8
3 資金繰り	14.7	64.7	20.6	△ 5.9	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	12.1	66.7	21.2	△ 9.1
4 従業員(含臨時・パート)	11.4	74.3	14.3	△ 2.9	12.1	63.6	24.2	△ 12.1	17.6	70.6	11.8	5.9
5 商品(製品)在庫	8.8	85.3	5.9	2.9	15.6	75.0	9.4	6.3	9.1	78.8	12.1	△ 3.0
6 業況(自社)	23.5	47.1	29.4	△ 5.9	15.2	39.4	45.5	△ 30.3	20.6	52.9	26.5	△ 5.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	41.5	5.9	5.9	41.2	11.8	11.8	23.5	0.0	58.5
2 来 期	58.7	3.7	14.8	44.4	0.0	18.5	14.8	3.7	41.3

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	65.7	3.4	0.0	9 金利負担の増加	0.0	3.4	3.8
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	3.8	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.9	13.8	7.7	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	2.9	10.3	3.8	12 従業員の確保難	8.6	3.4	19.2
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	11.4	10.3	19.2	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	5.7	20.7	23.1
6 人件費の増加	2.9	20.7	3.8	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	3.8
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	3.4	3.8	15 その他	0.0	3.4	3.8
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	6.9	3.8				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 来期より新型モデルを増産の予定ですが部品の入手難が6月前後に響くと言われており、どの程度の影響があるのか不安。
- ・ 外国人による労働力が今後期待出来ない状況になると考えられる原因として、特定技能が最大要因となる。
- ・ 昨年に続き、卒業、入学、花見の注文（弁当、オードブル）が全くと言っていいほど無い状態。
- ・ 原材料、副材料等の価格が上昇してきている。
- ・ 首都圏での取り扱い店舗が増えた。コロナで県外への出張ができず、営業活動ができない。コロナで時間が増え、新製品開発が出来た。
- ・ 3月末で事業承継を行い、県外店舗との取引が可能となった。
- ・ 1月は緊急事態宣言の影響大きく、主力の県外顧客の受注減、土産物の動きも悪かった。3月に限れば一昨年の売上を越えた。
- ・ 県外への営業活動の自粛継続による事業活動への影響。
- ・ コロナの緊急事態宣言を受け、関西・北陸の出張を延期した結果、売上減少につながった。今後は車関係の受注の増加が見込まれる。
- ・ 今後の動向不明。
- ・ 飲食店土産店が大幅ダウン、ただし海外が少しずつ戻り、逆に出荷量も増えてきたのが幸い。

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況 (%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	11.8	23.5	64.7	△ 52.9	17.6	29.4	52.9	△ 35.3	25.0	43.8	31.3	△ 6.3
2 採算(経常利益)	5.9	41.2	52.9	△ 47.1	11.8	29.4	58.8	△ 47.1	18.8	56.3	25.0	△ 6.3
3 資金繰り	5.9	82.4	11.8	△ 5.9	11.8	70.6	17.6	△ 5.9	6.3	75.0	18.8	△ 12.5
4 従業員(含臨時・パート)	0.0	76.5	23.5	△ 23.5	0.0	76.5	23.5	△ 23.5	18.8	68.8	12.5	6.3
5 商品(製品)在庫	5.9	52.9	41.2	△ 35.3	5.9	41.2	52.9	△ 47.1	25.0	50.0	25.0	0.0
6 業況(自社)	0.0	64.7	35.3	△ 35.3	0.0	47.1	52.9	△ 52.9	12.5	62.5	25.0	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資 (%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	31.6	0.0	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	68.4
2 来 期	47.1	0.0	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	52.9

3、経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位			2位			3位		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	62.5	6.7	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0		
2 新規参入業者の増加	0.0	6.7	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	6.7	8.3		
3 単価の低下・上昇難	6.3	6.7	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	16.7		
4 材料(原材料)等の入手難	6.3	6.7	8.3	12 従業員の確保難	6.3	6.7	16.7		
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	6.3	0.0	16.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	20.0	16.7		
6 人件費の増加	0.0	6.7	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	13.3	8.3		
7 仕入・人件費以外の経費の増加	6.3	13.3	0.0	15 その他	0.0	0.0	0.0		
8 商品(製品)在庫の過剰	6.3	6.7	8.3						

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・コロナの第3波で年明けから売上が再び減少。
- ・外国からの仕入困難。コンテナが入り商社から連絡があると随時仕入をしている為、在庫過多。万が一在庫がなくなったら得意先に迷惑がかかる為、ある時に仕入。従って支払が大変。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	36.2	21.3	42.6	△ 6.4	26.1	17.4	56.5	△ 30.4	21.3	38.3	40.4	△ 19.1
2 採算(経常利益)	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	20.8	37.5	41.7	△ 20.8	10.4	56.3	33.3	△ 22.9
3 資金繰り	17.0	51.1	31.9	△ 14.9	17.0	51.1	31.9	△ 14.9	8.5	63.8	27.7	△ 19.1
4 従業員(含臨時・パート)	6.5	78.3	15.2	△ 8.7	13.0	67.4	19.6	△ 6.5	13.0	76.1	10.9	2.2
5 商品(製品)在庫	8.3	70.8	20.8	△ 12.5	10.4	62.5	27.1	△ 16.7	6.3	66.7	27.1	△ 20.8
6 業況(自社)	25.5	36.2	38.3	△ 12.8	23.4	36.2	40.4	△ 17.0	21.3	48.9	29.8	△ 8.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	26.9	0.0	0.0	42.9	21.4	14.3	14.3	7.1	73.1
2 来 期	22.0	18.2	9.1	18.2	36.4	0.0	18.2	0.0	78.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	46.7	14.3	16.7	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	9.5	8.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.2	14.3	5.6	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	2.8
4 材料(原材料)等の入手難	2.2	0.0	2.8	12 従業員の確保難	20.0	7.1	11.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	2.2	11.9	13.9	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.4	14.3	25.0
6 人件費の増加	6.7	9.5	5.6	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.2	11.9	2.8
7 仕入・人件費以外の経費の増加	4.4	7.1	0.0	15 その他	8.9	0.0	5.6
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・現状は落ち着きましたが、生物（刺身・総菜）手作りのものは不調でした。好調なものは全般好調でした。日用品、加工食品、肉など。
 - ・3月に入り、部門によっては前年比を上回るものがあり売上がほぼ回復した。4月以降は大幅なアップとなるが一昨年との比較が目安になると思う。
 - ・車業界出雲に於いてはコロナ影響は現在さほど出ていない様ではあるが、経済の低迷により新車買い控えが考えられる。
 - ・コロナの終息、先行きが見えず、今年度も我慢の1年になりそうです。
 - ・年始の大雪で正月の売上が例年になく低調だったが、2月、3月と少しずつ好転した。
 - ・寒冬の為、前年同期比で売上が灯油販売120%、コロナウイルスの為ガソリン販売90%程度です。
 - ・イベント、婚礼、仏事が減少の為、売上が全くのびない。
 - ・中国地方（特に広島）からの観光客が好調。また、空港利用者の増加が目立つ。
 - ・コロナによる入手困難な仕入（商品）が多数出ている。
 - ・コロナから1年以上が経過するも前年と同様に箱マスク等のマスクの売上が前年を越えている。家飲食需要により、日配品、生鮮品が好調である。
 - ・お客様宅へどんどん行く事がむずかしい。とにかくコロナがおさまってほしい。
 - ・コロナ不況の為ほとんど消費税は値引しています。（婦人服の場合）
 - ・各スポーツ施設の大会開催、各学校の大会参加。
- 5月15日の島根県の聖火リレーに期待しております。

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	14.3	26.5	59.2	△ 44.9	14.6	14.6	70.8	△ 56.3	20.8	45.8	33.3	△ 12.5
2 採算(経常利益)	10.4	39.6	50.0	△ 39.6	10.6	21.3	68.1	△ 57.4	12.8	51.1	36.2	△ 23.4
3 資金繰り	2.1	53.2	44.7	△ 42.6	0.0	50.0	50.0	△ 50.0	8.7	60.9	30.4	△ 21.7
4 従業員(含 臨時・パート)	2.1	76.6	21.3	△ 19.1	2.1	66.0	31.9	△ 29.8	0.0	83.0	17.0	△ 17.0
5 商品(製品)在庫	2.6	84.6	12.8	△ 10.3	2.6	76.9	20.5	△ 17.9	7.7	84.6	7.7	0.0
6 業況(自社)	4.2	43.8	52.1	△ 47.9	6.1	36.7	57.1	△ 51.0	18.4	46.9	34.7	△ 16.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	実施 した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	31.4	6.3	31.3	18.8	31.3	0.0	6.3	6.3	68.6
2 来期	33.3	13.3	13.3	20.0	40.0	0.0	13.3	0.0	66.7

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	63.6	13.9	3.4	9 金利負担の増加	2.3	0.0	3.4
2 新規参入業者の増加	4.5	0.0	3.4	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	3.4
3 単価の低下・上昇難	4.5	13.9	6.9	11 事業資金の借入難	0.0	2.8	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	11.4	11.1	20.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	2.3	19.4	3.4	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.5	16.7	31.0
6 人件費の増加	0.0	13.9	6.9	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	3.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	5.6	10.3	15 その他	6.8	2.8	3.4
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・宿泊は少しずつ増加しているが、宴会が不調である。
- ・宿泊業の客数の大幅減で業績に大打撃を受けた。
- ・コロナウイルス感染対策商材への関心は増えているのでは。（コーティング剤など）
- ・ブライダル写真関係の売上減少によって全体の売上が下がった。今後、結婚式披露宴をしないカップルへのブライダルフォトのPRが必要と思う。
- ・来期売上の見通しは、昨年よりもゴールデンウィーク期間中に稼働率が上昇するのではとの期待感から増加としました。コロナ第4波が発生すれば修正となります。
- ・コロナウイルスの影響による観光客の大幅な減少。
- ・GOTOトラベルは低額（もとより）宿なので、参加しなかったが、問い合わせがありビックリ。
- ・WeLove山陰は、これも期待しなかったが少ないながらも2件あってビックリした。仕事柄県外の人が相手なのでおそろしい。
- ・新年度をむかえ、やや好転しているが、以前（コロナ前）ほどはまだまだ見込めません。陽性者情報がでるたびに常にひやひやです。
- ・機械の老朽化も懸念されますが、設備投資に二の足をふんでいます。ワクチンの効果に期待です。
- ・意外と自分のメンテナンスの為にシャンプーの購入が増えた。
- ・外食、宅食、観光、ホテルは不調 衣料、物販、家電は好調。
- ・正月、出雲大社の初詣客を期待し、福袋等を準備したが、不要不急の外出自粛で全く動かず、早々に商品を撤去した。
- ・GOTOの全国一斉停止でキャンセルが相次ぎ、年越しに空室が目立った。再度お土産問屋の在庫処分市を開催し好評であったが、プロパー商品が動かず減益となった。
- ・GoToトラベル事業の期間中は好調。その後は不調。
- ・美容売上多少増加。依然として婚礼、着付減でした。業界としては温度差があり、新規参入業者の増加影響もありなしは温度差…
- ・週休3日の案が出ているがもうこれは業界では無理です。
- ・島根県への旅行（コロナ感染者が少ない為）がどの様に変化して行くのか心配。
- ・ネット広告、HP作成等が激増した。
- ・コロナウイルスが出雲でも少なく出てはいますが、お客様来店には影響はさほどなかったです